

スマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 14.5%に

～年代別のスマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 30 代が 18.4%と最も高い～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果：

- ①スマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 14.5%
- ②年代別のスマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 30 代が 18.4%と最も高い

■ 調査結果

1. スマートフォンユーザーの MVNO 利用率は 14.5%

「MVNO (Mobile Virtual Network Operator) =仮想移動通信事業者」とは、NTT ドコモ、au、ソフトバンクなどの「MNO (Mobile Network Operator) =移動通信事業者」から通信回線を借り受けて通信サービスを提供する事業者のことである。MVNO は格安スマホ、格安 SIM などと呼ばれ、主にスマートフォンやタブレット向けにサービスが提供されている。MVNO は近年普及が進んできており、2018 年にはスマートフォンユーザーのうち 14.5%が MVNO を利用との結果が得られた。

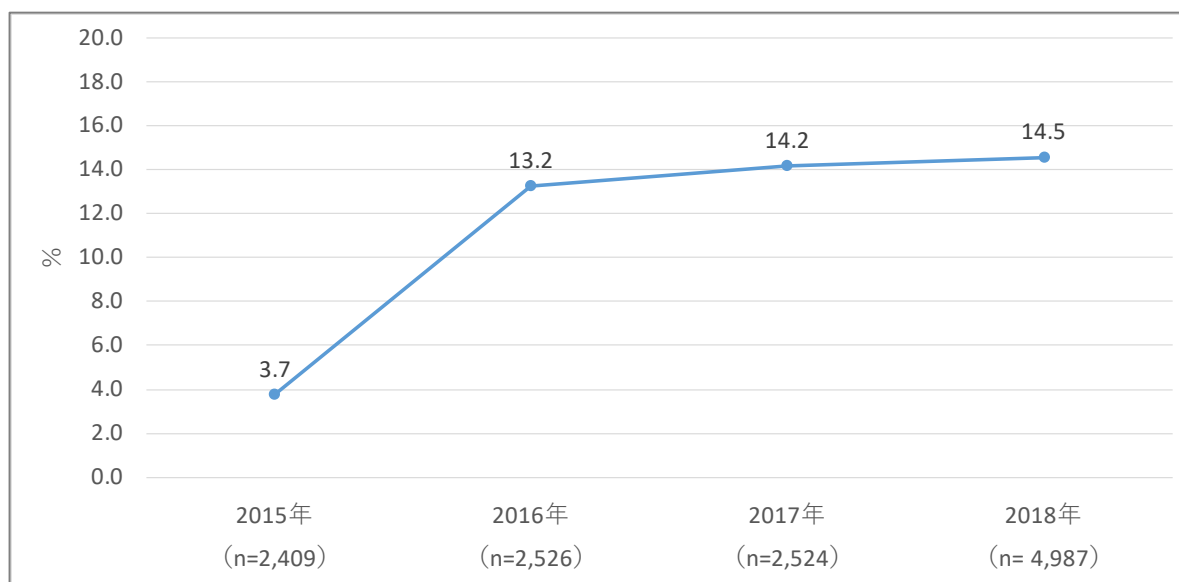


図1 スマートフォンユーザーの MVNO 利用率¹²

¹ 「スマートフォン」は「Android」「iPhone」「Windows Mobile が OS のもの」「シニア向けスマートフォン」「タブレットタブレット (AQUOS PAD,ARROWS Tab,iPad など、通信回線契約をしているものに限る)」の合計

² MVNO については「NTT ドコモ」、「au」、「ソフトバンク」および「Y!mobile」を除いた携帯電話会社について集計

2. 年代ごとのスマートフォンユーザーの MVNO 利用率

それぞれの年代ごとに、スマートフォンユーザーのうち何%が MVNO ユーザかを図 2 に示す。図 1 で示したとおり、スマートフォンユーザーの平均 MVNO 利用率は 14.5%であった。平均 MVNO 利用率を上回っている年代は 30 代 (18.4%)、40 代 (15.1%)、60 代 (16.4%)、70 代 (18.2%) であった。一方、10 代 (6.9%)、20 代 (10.9%)、50 代 (13.4%) については平均より低い利用率となった。

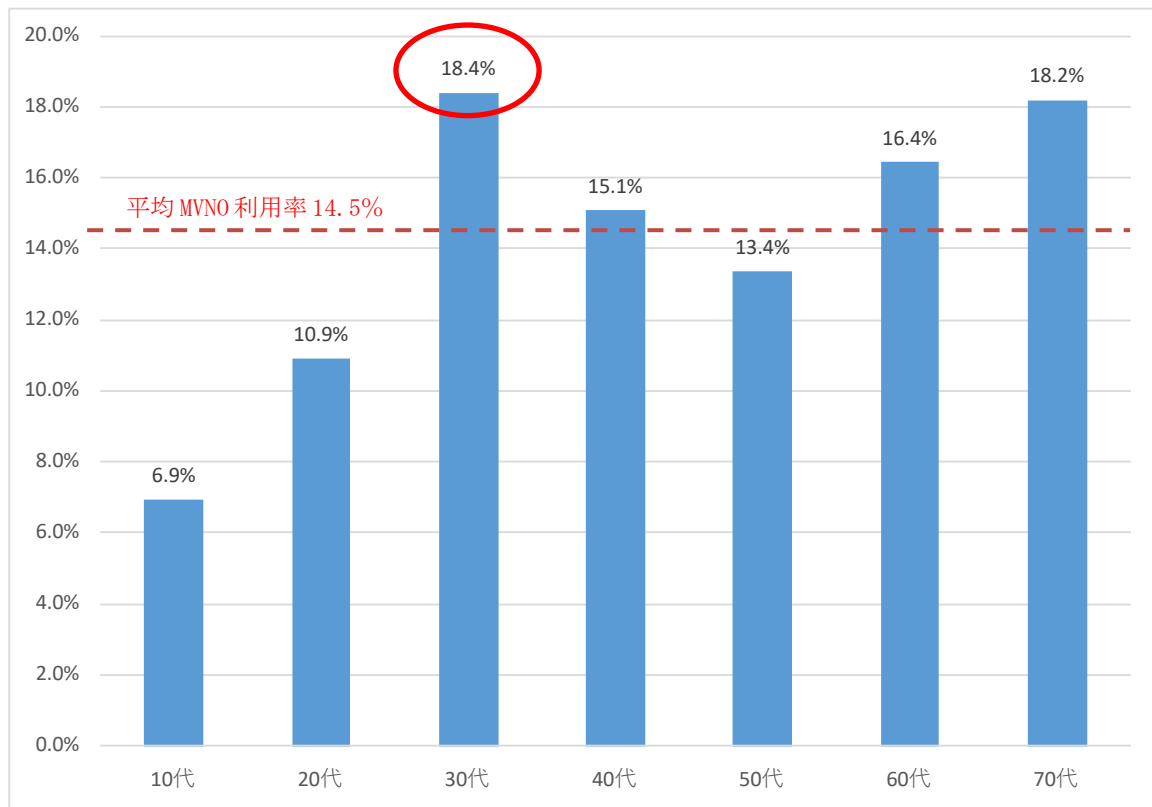


図 2 年代ごとのスマートフォンユーザーの MVNO 利用率 (2018 年)

2019 年には MVNO 事業者一つであるの楽天が第 4 の「移動通信事業者=MNO (Mobile Network Operator)」としてサービスを開始することもあり、「MVNO (Mobile Virtual Network Operator) =仮想移動通信事業者」を取り巻く環境は大きく変化する。今後どのような変化が生じるかについて継続的に観測していきたい。

■調査概要

調査名：経年概況調査（一般向けモバイル動向調査）

調査時期：2015 年 1 月、2016 年 1 月、2017 年 1 月、2018 年 1 月

調査対象：全国・15～79 歳男女

調査方法：Web

標本抽出法：QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5 歳刻み）・居住地域区分のセグメントで日本の人口分布に比例して割付。

サンプル数：2015 年（2706 サンプル）、2016 年（3000 サンプル）、2017 年（3000 サンプル）、2018 年（6000 サンプル）回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087